

西洋古代史研究

Acta Academiae Antiquitatis Kiotoensis

第 6 号 Tomus VI

目 次

〈 論 説 〉

都市ローマとイタリアの支配階層

— 友誼・血縁関係とその重要性 — …………… ジョン・R・パターソン (藤井崇訳・解説) (1)

ユリアヌス帝の意識のなかのローマ皇帝像

— 『ひげざらい』における法律意識の分析を中心に — …………… 南 雲 泰 輔 (19)

〈 研究ノート 〉

リッチバラとポートチェスター

— 遺跡から古代が見えるか — …………… 南 川 高 志 (41)

〈 フォーラム 〉

多神教と一神教：象徴から歴史へ …………… 山 内 暁 子 (55)

〈 書 評 〉

Elspeth R. M. Dunsinberre, *Aspects of Empire in Achaemenid Sardis* …………… 阿 部 拓 児 (61)

英文要旨

編集後記 …………… 南 川 高 志

京 都 大 学

2006

本号の執筆者（執筆順）

ジョン・R・パターソン	ケンブリッジ大学古典学部上級講師
	モードリン・コレッジ・フェロウ
藤井 崇	京都大学大学院文学研究科博士後期課程（ローマ史を専攻）
	ドイツ・ハイデルベルク大学留学中
南雲 泰輔	京都大学大学院文学研究科修士課程
	（後期ローマ帝国史・初期ビザンツ帝国史を専攻）
南川 高志	京都大学大学院文学研究科教授
山内 暁子	京都橘大学等非常勤講師（古代ギリシア史を専攻）
阿部 拓児	京都大学大学院文学研究科博士後期課程（古代ギリシア史を専攻）
	イギリス・リヴァプール大学留学中

編集後記

『西洋古代史研究』第6号をお届けいたします。今号は巻頭に、ケンブリッジ大学古典学部上級講師でローマ史研究者のジョン・パターソン博士の本年3月4日京都大学での講演に基づいた論文を、藤井崇氏の訳と解説で掲げました。藤井氏はケンブリッジ大学留学中にパターソン博士の指導を受けており、博士来日時の講演会でも活躍してくれました。

編集子は本年6月はじめから9月末までケンブリッジに滞在し、「ローマ帝国の終焉」に関する研究に従事しておりました。この間、京都大学文学研究科の21世紀COEプログラムが、「人文学の統合——古典学と哲学の役割」というテーマの国際シンポジウムを、ケンブリッジ大学古典学部を会場として開催することになり、編集子は現地でその準備もおこないましたが、パターソン博士にはその際たいへんお世話になり、おかげでシンポジウムは9月25日に多くの方々にご参加いただき、無事実施することができた次第です。

編集子はこのケンブリッジ・シンポジウムで、日本の西洋古代史研究の歩みを話しました。近年の西洋史学界では、日本人学生や教員のヨーロッパ留学や学会参加はもちろんのこと、上記のようにヨーロッパで研究集会を主催することも珍しくなってきましたが、こうした一見「国際化」したように見える状況の中で、編集子はむしろ日本人の研究者にふさわしい仕事とは何かを考え続けております。歴史学という研究者の立場に拘束されざるをえない、それ故にまた多様な解釈と学問の進展が大いに可能なこの学問において、日本人歴史研究者は欧米研究者に追隨する仕事ではなく、自身の境涯に即した研究をし、かつそれを欧米研究者に伝えてこそ、真の学問的国際化に貢献できるのでは、などとケンブリッジで考えておりました。読者の皆様はいかがお考えでしょうか。

（南川高志）

平成18年12月10日発行

西洋古代史研究 第6号

発行者 京都大学大学院文学研究科 南川高志

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

TEL. 075-753-2779

印刷 株式会社田中プリント

〒600-8047 京都市下京区松原通麴屋町東入
石不動之町677-2

TEL.075-343-0006

Acta Academiae Antiquitatis Kiotoensis

The Kyoto Journal of Ancient History

Tomus VI

Vol. 6

Articles:

- The Relationship of the Italian Ruling Classes with Rome: Friendship, Family Relations
and Their Consequences John R. PATTERSON
Japanese translation by Takashi FUJII (1)
- The Self-Image of the Roman Emperor in Julian the Apostate's *Misopogon*
..... Taisuke NAGUMO (19)

Research Note:

- Richborough and Portchester: Can we recognize the Antiquity at the historical remains?
..... Takashi MINAMIKAWA (41)

Forum:

- From Polytheistic to Monotheistic: Beyond the symbolism Akiko YAMAUCHI (55)

Review:

- Elsbeth R. M. Dusinger, *Aspects of Empire in Achaemenid Sardis* Takuji ABE (61)

English Summary

Editor's Notes Takashi MINAMIKAWA

Kyoto University

2006